

春野鶴子（はるの）消費運動家。大正四年一月一日長崎縣生まれ、昭和五
 十六年十一月八日没（一九五〇年八月一日）。本名ツル子。昭和九年長崎女子師
 範學校卒。教員を経て十二年上海へ渡り、十五年上海中法婦女聯合會
 を創設して理事長となる。また雑誌「婦人大陸」を創刊して編輯等々を
 従事。二十一年引揚げ後は「新夕刊」、「婦人新聞」記者等を経て、
 二十五年主婦道合會へ加盟、二十七年副會長。月刊同人誌「まご健康」
 を主宰。生涯獨身、男装を道した。在支中、易を學ぶ。
 著書「私は中国の共隊だった」（昭和二十二年八月、二十日学風書院）、
 「男装流転」（昭和二十四年七月、二十日学風書院）「日本の百人全集」、
 「易の手引」（昭和二十七年九月五日桜桃社）、「太陽は毎朝昇る—
 易と人生」（昭和四十六年七月一日文藝春秋）等。

春野鶴子
太陽は毎朝昇る
易と人生

春野鶴子 太陽は毎朝昇る 易と 文藝春秋

易は人間形成の指針である——易の精神を行動の支えとしてきた主婦連副會長が、経済繁栄のみに陥心し、心を忘れた現代人に訴える人間性回復の書！

文藝春秋刊 500円